

松阪市子ども支援研究センターだより

E-mail: kyo.div@city.matsusaka.mie.jp <http://www.city.matsusaka.mie.jp>

松阪教育支援センター「鈴の森教室」TEL 26-1900 FAX 26-1901 E-mail: suzunomori@matsusaka.ed.jp
 松阪教育支援センター「うれしの教室」TEL 42-7374 FAX 42-4568 E-mail: uresino-k@matsusaka.ed.jp



よろしくお願いたします

子ども支援研究センター近くの阪内川では、すっかりこの時期の風物詩となった「殿町中学生鯉吹かし」の140匹の鯉が気持ちよさそうに風に吹かれています。

各園・学校におかれましては、新体制のもと本年度を踏み出され1か月が過ぎようとしていますが、家庭訪問、遠足の行事等何かとお忙しい日々をお過ごしのことと存じます。

当センターでは、本年度も教職員研修、教育研究、教育相談、教育支援センター（鈴の森教室・うれしの教室）等の業務を担ってまいります。各園・学校や先生方とともに歩みながら、今日的な教育課題や先を見通した取り組み等の推進に向けて、職員全員で努めてまいります。本年度も、皆さまのご理解とご支援をよろしくお願いたします。

子ども支援研究センター本年度のスタッフです。1年間よろしくお願いたします。

山本 嘉（所 長）
 朝田かおり（研修主事）
 小濱 偉（研修主事）
 湯田 文雄（研修主事）
 飯田 圭吾（事務職員）
 松本 勝之（長期研修員）
 更屋 博史（長期研修員）

<鈴の森教室>
 小泉 章一（教育支援センター指導員）
 西出 雅子（教育支援センター指導員）
 早川 尚子（教育支援センター指導員）
 <うれしの教室>
 吉村 史子（教育支援センター指導員）
 新谷 真季（教育支援センター指導員）

「授業は小さい声の出せる時ほど成功している。児童の精神が集中しているから小さい声が出せるのである。教師の心が冷静であるから小さい声が出せるのである。また、あたりが静かであるから小さい声が出せるのである。」

戦後日本の教育界に大きな足跡を残した斎藤喜博先生の言葉です。

日々の教室や学校の様子を思い描くと、児童・生徒はなにかガサガサしている、教師は大きな声を張り上げている、学校全体も間断なくザワザワしている、そんな風景が容易に浮かんできます。

こんな言葉は理想なのだ一笑に付したくもなります。

しかし、市内の研究授業に参加した場合などに、こんな言葉のようなしっとりとした授業に出くわすことがあります。児童・生徒は程よい大きさの張りのある声で発言し、教師は児童・生徒らに語りかけるように穏やかに発問している。考え合う場があり、学びの場があります。

地域が落ち着いた小規模な学校ばかりでそんな授業に出くわすとは決して限りません。

本年度が始まり、各学校では子ども達に真の学力をつけるための教育活動がスタートしました。「成功」した授業はどんなのか、それぞれ思い描きながらすすめていきたいものです。

（山本 嘉）

研修講座をご活用ください

本年度も33の研修講座を計画しています。今回は、夏季休業日までの講座を日付順に紹介させていただきます。まもなく各園・校に募集案内をしますので、受講申し込みをよろしくお願いいたします。（C-1、C-4はそれぞれ担当者、初任者のみの講座です。）

番号	実施日	時間	講座名	講師名 (敬称略)	所属	会場
C-4	5/22(木)	13:30 ~16:30	初任者研修 (第14回校外研修)	寺嶋 昭洋	松阪市文化財センター主任	市文化財センター 他
C-1	5/27(火)	15:00 ~17:00	特別支援教育 コーディネーター研修 I	伊達 隆	育ちサポート室指導主事	嬉野社会福祉センター
A-3	6/3(火)	13:30 ~16:30	算数	細水 保宏	筑波大学附属小学校副校長	掃水小学校
B-16	6/14(土)	14:00 ~16:30	乳幼児教育 I	鈴木 寿子	NPO 法人 After School 夢 代表	子ども支援研究センター
A-10	6/20(金)	13:30 ~16:30	外国語活動	直山木綿子	文部科学省教科調査官	漕代小学校
B-7	7/3(木)	14:00 ~16:30	健康教育	石黒 幸司	上矢作歯科診療所所長	橋西地区市民センター
B-17	7/5(土)	14:00 ~16:30	乳幼児教育 II	小川 雄二	名古屋短期大学保育科教授	子ども支援研究センター

社会科副読本編集委員会より

社会科副読本「わたしたちの松阪市」インターネット版をご利用いただいていますでしょうか。当委員会では、昨年度（25年度）、第7章の完成に向けた編集作業を続けてきました。また、他章においても、地域の教材がビジュアルを通して理解できるように資料や映像を更新しております。ぜひ、社会科だけにとどまらず、様々な学習の場面で教材としてご活用ください。

★ご希望の書籍を購入します★

今年度も教育関係書籍の購入をさせていただきますので、ご希望の書籍がありましたら、電話やFAX、メールなどで子ども支援研究センターまでお知らせください。

現在ある書籍の貸し出しもしております。1回の貸し出し期間は2週間です。当センターホームページ「蔵書案内」を参考にして、お問い合わせください。

なお、当ホームページへは、インターネット検索「子ども支援研究センター」からお入りください。

研究集録 ありがとうございました

たくさんの園・学校から研究（実践）集録を届けていただきました。閲覧していただくことができますので、どうぞ今年度の授業や研究にお役立てください。

